令和３年度第１回美濃市地域公共交通会議

（会議録）

■会議の日時及び場所

＜日時＞

令和 3 年 6 月 25 日（金）　午前 10 時～午前 11 時 30 分

＜場所＞

美濃市防災 ･中央コミュニティセンター 2 階大会議室

■出席した委員及び説明のために出席した者の職、氏名

＜出席した委員＞

委員 20 名

委員　3 名欠席

＜説明のために出席した者の職、氏名＞

美濃市総務部総合政策課　課長	宮田　敏生	（事務局）
美濃市総務部総合政策課　課長補佐	後藤　尋明	（事務局）
美濃市総務部総合政策課　主事	末松　和也	（事務局）

■議事の件名及び経過の要点

議題

（１）令和 2 年度事業報告について、（２）令和 2 年度決算について

出席者全員の拍手により承認

（３）令和 3 年度事業計画（案）について、（４）令和 3 年度予算（案）について

出席者全員の拍手により承認

（５）美濃市生活交通確保維持改善計画（案）について

出席者全員の拍手により承認

各委員からの意見

・書面会議を除くと公共交通会議が年１回になる。書面会議だとその項目だけについて諮り、回答をいただくということになり、なかなか委員で課題の話し合いをすることが難しい。のり愛くんのアンケートを実施しているようだが、その結果を受けてどう改善していくか等の話し合いをぜひ対面の会議で実施してほしい。
→現時点では年２回を予定しているが、今後市民アンケートの取りまとめ結果や課題の検討、地域公共交通活性化・再生法の法定計画の策定など個別の議案について対面で協議する場を設けながら進めていきたい。

・長良川鉄道と牧谷線の乗り継ぎ時間が短く、乗り遅れることがあるということだが、困っている人が実際にいるのであれば関係者間で調整するのは難しいことではないと思うので、早期に対応していただきたい。また対応した後、公共交通会議でどのように対応したかを共有する等して市内の公共交通の利用状況を改善したということを委員全員で共有していただきたい。
→調整できるところは速やかに調整をして、その結果を公共交通会議で共有したいと考えている。

・東京から来た方が美濃インターでバスを降りて上牧へ行くにはどうすればいいのか分からないということがあった。バスターミナルのようにいろんな方面に行くバスがあり、そこに行けばいろいろと聞けて美濃に来ても迷うことがないようなセンターが欲しい。
・デマンドバスがあるが、上牧から乗って美濃まで約１時間かかる。通院や買い物などで疲れた年配の方には１時間の乗車はつらく感じる。もう一度右回り左回りのような路線バスにならないだろうか。

・休日ののり愛くんの利用率が低いということで、観光客の多い休日に郡上市のように高速バスに接続することで観光客の利便増加や利用率の改善になるのでは。また高齢者のアクセル踏み間違え等事故も増えており、運転免許の自主返納を促すためにものり愛くんの利便向上に努めてほしい。

・観光客の高速バスへの接続だが、中には高速バスの時間に合わせて前もって予約をしていく観光客の方もいる
・所要時間がかかるということについては台数に限りがあり、距離もあるので、上牧の方は２台運用しているが、どうしても４０分から１時間弱はかかってしまう。定時定路線のバスとは違い乗り合わせのタイミングなどもあり、時間がかかってしまうことも配車が遅くなってしまうことも時にはあるということをご理解いただきたい。タクシーと違い電話してすぐに来るものではないので、自分の動きたい時間に合わせて３０分以上前に予約をしていただくのが大前提と考えている。急ぎの方にはタクシーを利用していただきたき、可能ならタクシー移動の方にも補助等の検討をしてもらいたい。
→今後高齢者を含め市民の方にアンケートを実施する予定であるため、そこでの御意見も考慮しながらのり愛くんのあり方等について検討を進めたいと考えている。

・のり愛くんについては無駄を省き、効率よく運行しているということで評価する声もある。今後も課題は有るかと思うが、市内全域で利用できるということで、アンケートの実施などで利便性を高めながら進めていってほしい。

・武義高校生と関高校生が牧谷線を利用するが、関高校生の乗り継ぎ時間に合わせて牧谷線の時間を５分から１０分程度早めたとしても武義高校生としては問題無いと思うので、関係者で協議を進めていただければと思う。

・高齢者の事故が多いのでデマンド交通は有難いと思っている。通院や買い物で利用している方が多いということで、免許の自主返納をしても生活をしていけるということをもっと周知して利用促進をしていただきたい。

・４種踏切については事故も多く危険であるため、廃止していきたいと考えているが、地域住民の理解が得られるかが課題となるので、美濃市とも調整をしながら廃止の方向で進めていきたい。

・６５歳以上の方に対する市民アンケートを実施するということで、利便性向上を通じて運転免許の自主返納に繋がっていくことを期待している。

・市民アンケートで６５歳以上へのアンケートとしているが、６５歳の人が運転免許の自主返納をすることはあまり想像できない。運転免許の自主返納を考えるのは７５歳前後というのが実感としてあるので、市民アンケートを実施する年齢を考えた方が良いのでは無いか。
・運転免許の返納は勇気がいる。いきなり返納するのではなく、例えばミニカーのような電気自動車に移行してもらうなどの段階を経て自主返納に向かうような促進策を進めてほしい。
→運転免許の自主返納については年齢による線引きは無く、本人やその家族から運転を続けるのが不安だと聞くので、運転免許を返納しても（公共交通などで）生活していけるということを周知することが大切
→市として運転免許の自主返納を強く推奨しているわけではないが、御手洗グラウンドなどで運転コースを作り、運転者本人に運転能力をチェックしてもらうという事業を進めている。周囲からの促進だけでなく、運転者本人に現状の運転能力を自覚してもらい、必要だと思う方に自主返納をしていただくことが大切だと考えている。

〇委員出席者（２０名）

区　　分	所 属 名 及 び 役 職 名	氏　　名
市長またはその指名する者	美濃市長	武藤 鉄弘
一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の代表者またはその指名する者	岐阜乗合自動車株式会社　営業管理部長	相宮 一夫
	岐阜県タクシー協会　美濃タクシー株式会社代表取締役	長瀬 輝彦
	長良川鉄道株式会社　専務取締役	坂本 桂二
住民または利用者の代表	美濃市連合自治会　会長	小林 隆男
	美濃市社会福祉協議会　会長	柴田 徳美
	美濃市ボランティア連絡協議会　会長	井川 玉枝
	美濃市シニアクラブ連合会　会長	村井 安實
	美濃商工会議所　女性会会長	掛布 栄子
	美濃市観光協会　会長	旦野 隆晃
	美濃市小中学校校長会　代表	家田 陽介
	美濃市連合 PTA　代表	篠田 和法
	武義高等学校 PTA　会長	田代 雅士
国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局長またはその指名する者	中部運輸局岐阜運輸支局　首席運輸企画専門官	伊藤 一智
一般旅客自動車運送事業者の運転者が組織する団体の代表者またはその指名する者	岐阜乗合自動車労働組合　執行委員長	正村 明
岐阜県美濃土木事務所長またはその指名する者	岐阜県美濃土木事務所　道路調整監	内川 靖
岐阜県関警察署長またはその指名する者	岐阜県関警察署　交通課長	土屋 公彦
岐阜県都市建築部公共交通課長またはその指名するもの	岐阜県都市建築部都市公園整備局公共交通課　課長	前田 寛徳
市長が交通会議の運営上必要と認める者	美濃市総務部　部長	纐纈 敬久
	美濃市建設部　部長	伊藤 篤

〇会議資料

【資料１】　・令和２年度事業報告書

【資料２】　・令和２年度のり愛くん・牧谷線利用状況

【資料３】　・令和２年度　歳入歳出決算・監査報告書

【資料４】　・令和３年度　事業計画（案）

【資料５】　・令和３年度　予算（案）

【資料６】　・美濃市生活交通確保維持改善計画（案）

【資料７】　・公共交通に関する美濃市の取組